

●用途

- 1 不銹鋼・珪素鋼の光輝焼鈍
- 2 金属表面還元、鍍付、シタリング



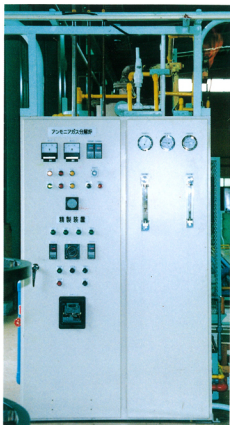
ATMOSPHERE
GENERATOR BY
AMMONIA

アンモニアガス分解炉

7

●特長

- 1 高性能、高能率
- 2 故障絶無
- 3 操作簡単
- 4 分解アンモニア、微少



アンモニアガス分解炉

本装置は分解反応が比較的容易である。従って装置も簡単に設備費を考慮すれば市販水素又は他の諸装置を用いるより安価な水素が得られる。

■アンモニアガス分解炉の仕様

Type	AD-15	AD-25	AD-35	AD-50
Approx overall dimensions	1000(W)x2000(L) x1600(H)	1200(W)x2200(L) x1800(H)	2200(W)x2500(L) x1800(H)	2200(W)x2600(L) x1800(H)
Out put rating	15m ³ /Hr	25m ³ /Hr	35m ³ /Hr	50m ³ /Hr
El. Rating	20KW	25KW	30KW	45KW

※その他大容量の装置も製作します。



ATMOSPHERE GENERATOR BY AMMONIA DISSOCIATION

アンモニア分解ガス精製装置

アンモニアガス分解炉よりのガスを、この装置を通すことで露点が低く、未分解アンモニアガスの無いガスが供給するものです。

■アンモニア分解反応

アンモニア分解反応における平衡恒数及残留アンモニア量を Nernst の近似式から求めると次の通りである。

K P : 平衡恒数は Nernst 近似式に
 $\Delta H = 22 \text{ at } 25^\circ\text{C}$

化学常数 $\text{C}_{\text{NH}_3} = 3.3$

$\text{N}_2 = 2.6$

$\text{H}_2 = 1.6$ 代入

VOL : $KP/P^2 = \frac{(\text{N}_2)^3 (\text{H}_2)}{(\text{NH}_3)^2}$

に於いて

$\text{NH}_3 < 1$ $P = 1$ として
 計算したもの



アンモニア分解ガス精製装置

Temp. °C	KP (atm, unt)	The leaving of ammonia (Voly)
750	4.5×10^6	0.015
800	8.6×10^6	0.011
850	1.6×10^7	0.008
900	2.9×10^7	0.006
950	5×10^7	0.004

■アンモニア分解装置系統図

